

## 水産油脂資源講演会 開催リスト (2001～2008年)

年度	テ ー マ	講 師 (所属等講演当時)	
2008	カタクチイワシ太平洋系群の資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	主任研究員 久保田 洋
	近年のサンマの資源状況	(独)水産総合研究センター 東北区水産研究所 八戸支所 資源生態研究室	室長 上野 康弘
	地球温暖化が魚類に及ぼす影響	北海道大学大学院 地球環境科学研究院 地球圏科学部門	准教授 山中 康裕
2007	カタクチイワシ太平洋系群の資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	主任研究員 久保田 洋
	今年のサバ類の資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 資源動態研究室	主任研究員 渡邊 千夏子
	枯渇高騰する魚粉情勢の中、養魚飼料はどうあるべきか	国連食糧農業機関 持続的養殖プロジェクト	専門家 中田 誠
2006	カタクチイワシの資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	主任研究員 久保田 洋
	サバ類の資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 資源動態研究室	主任研究員 渡邊 千夏子
	温暖化による我が国水産生物の分布変化予測	(独)水産総合研究センター 水産工学研究所 水産土木工学部 環境分析研究室	室長 桑原 久実
2005	カタクチイワシの資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	室長 大関 芳沖
	カリフォルニアと日本のマイワシの資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 資源動態研究室	主任研究員 西田 宏
	我が国養殖業の評価と展望 ～ブリを事例に～	下関市立大学 経済学部	教授 濱田 英嗣
2004	今年のカタクチイワシの資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 資源評価部 生態特性研究室	室長 大関 芳沖
	養魚飼料としての魚粉の特質	(財)日本水産油脂協会	顧問 竹内 昌昭
	サケの世界市場とアグリビジネス	鹿児島大学 水産学部 海洋社会科学講座	助教授 佐野 雅昭
2003	近年のカタクチイワシの資源状況	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 黒潮研究部 資源評価研究室	主任研究員 石田 実
	養魚飼料における魚油の利用	東京海洋大学 海洋科学部	教授 竹内 俊郎
	近年のチリにおけるサーモン養殖事情	日本水産株式会社 国際漁業推進室 企画課	課長 原田 厚
2002	気候・海洋変動とその漁業資源への影響	北海道大学大学院 理学研究科	助教授 見延 庄士郎
	近年の北欧におけるサーモン養殖事情	新日本グローバル株式会社	取締役・製品事業統括 川村 慎司
	近年の中国における食品産業の変化	理研ビタミン株式会社	名誉会長 永持 孝之進
2001	マサバ太平洋系資源の現状と見通し	(独)水産総合研究センター 中央水産研究所 生物生態部 資源管理研究室	室長 谷津 明彦
	回遊性浮魚資源の魚種交替の動向	東京大学海洋研究所 海洋生物資源部門	助教授 松田 裕之
	中国における鰻養殖と加工事情 『中国産鰻輸入量増大の秘密』	伊藤忠フレッシュ株式会社 水産第三本部	取締役本部長 山田 栄一